

第 1 章 調査の概要

1 - 1 背景・目的

ヤマハ発動機(株)(磐田市)は、従来から環境活動を積極的に推進しており、さらにその活動を広げる観点から、平成 16 年 12 月より「エコ通勤」の導入を開始している。今後、その拡大・促進を図るためには、通勤者の実態にあった制度改正や追加支援等の持続可能なシステムへの拡充が重要となる。

また、このような先進的な取り組みについて、その実施内容や制度を調査・分析することにより、ヤマハ発動機(株)の「エコ通勤」のノウハウを体系化、広報することで、全国的に「エコ通勤」の導入・普及促進が図られることが期待されることから、今回、ヤマハ発動機(株)の実施する「エコ通勤」の実施状況を詳細に調査し、全国に普及可能であり、かつ持続可能な「エコ通勤」システムのあり方を検討する。

1 - 2 調査内容

(1) 通勤交通環境整理

道路交通現況整理

磐田市における道路網、自動車交通量、ボトルネック、渋滞状況を整理し、通勤交通に係る道路交通の現況・課題を整理した。

公共交通現況整理

磐田市における鉄道・バス等の公共交通の運行ダイヤ、利用実態を整理し、通勤交通に係る公共交通の現況・課題を整理した。

企業等立地状況整理

磐田市内に所在する企業の立地状況、従業員数、通勤実態を整理し、現在の従業員通勤に関する現況・課題を整理した。

(2) エコ通勤実施企業における活動の実態把握

エコ通勤活動の実施状況の把握

ヤマハ発動機(株)にて実施されている「エコ通勤」について、当該制度内容、利用従業員数、通勤実態などを企業に、参加動機や満足・不満な点などを活動参加者に、それぞれインタビュー調査を行い、実施状況を把握した。

エコ通勤実施に関する効果及び課題整理

エコ通勤活動の実施による効果について、エコ通勤活動の実施前後におけるマイカー通勤車両台数の減少による CO2 削減効果をもとに整理した。

また、ヤマハ発動機(株)が取り組むエコ通勤に関する実施面の課題について整理した。

(3) エコ通勤の導入拡大に関する企業意識調査

調査対象企業の選定

磐田市内の立地企業を対象に、ヤマハ発動機(株)の実施する「エコ通勤」の導入拡大の可能性を見出すため、14社の調査対象企業を選定した。

表1-1 調査対象企業14社

NTN(株)磐田製作所	等速ジョイント、ボールベアリング、各種精密機器商品
遠菱アルミホイール(株)	ホイール
ススキ(株)磐田工場	普通・軽自動車生産
大日精化工業(株)東海製造事業所	化学製品及び着色剤
天和染工(株)磐田工場	広幅織物染色整理加工業
高砂香料工業(株)磐田工場	香料
東海精機(株)	カーエアコン用コンプレッサーパーツ
日本たばこ産業(株)東海工場	たばこ製造
(株)プリジストン磐田工場	高機能化フィルム、精密ゴム・プラスチック製品
豊和繊維工業(株)磐田工場	繊維工業
ヤマハ(株)磐田工場	楽器製造(ピアノフレーム)
ヤマハ(株)豊岡工場	管楽器、電子楽器、
ヤマハメタニクス(株)	金属材料、ニッケル合金、銅合金等の製造販売・電子部品製造販売
ヤマハ発動機(株)	自動二輪、マリナー製品、電動自動車、電動スクーター等の製造

従業員意識調査

で選定した企業の従業員(制度利用者・非利用者)に対してアンケート調査等により、「エコ通勤」に関する意識調査を行い、エコ通勤への転換意向や転換促進上の課題等を整理した。

また、3地区(豊田エリア・三重県北勢エリア・磐田市エリア)共通のTFP(Travel Feedback Program)の考えにもとづくWEBを構築し、参加を呼びかけた。

アンケート調査項目は、概ね以下のとおりである。

- ・居住地、自家用車保有台数等(地域の交通環境を把握)
- ・勤務形態、出勤退社時刻等(転換のポテンシャルを把握)
- ・通常の通勤手段と所要時間(日・曜日、天候による変動を把握)
- ・マイカー利用に関する意識(自動車通勤の是非、転換意向等を把握)
- ・エコ通勤が可能な場合の条件等

企業意識調査

上記調査に併せて、選定した企業におけるエコ通勤転換に関する企業の意向、実施課題、方向性等について、アンケート調査による意識調査・分析を行った。

(4) エコ通勤拡充のあり方に関する提言

上記の調査を通じてエコ通勤を中部圏、更には全国的に拡大する可能性、方向性、方策、効果等とその実現に関する課題、各関係者の役割分担について、提言を行った。

1 - 3 調査の進め方

本調査は、「中部圏における通勤交通マネジメント等の推進による地球環境改善に関する調査検討会」及び各エリアに関するWG検討会並びに全国で実施されている通勤マネジメントに係る検討会調査の結果報告を行う連絡会議に諮り進めていくものとし、以下の体制で実施した。磐田市エリアWG検討会のメンバーは以下のとおりである。

- ・磐田市エリア ワーキンググループ：3回
- ・中部圏における通勤交通マネジメント等の推進による地球環境改善に関する調査 検討会議：2回
- ・通勤交通マネジメント等の推進による地球環境改善に関する調査 連絡会議(全国会議)：2回

表1 - 2 磐田市エリアWG検討会メンバー

団体名	所属等	氏名
豊橋技術科学大学	人文・社会工学 教授	宮田 譲
筑波大学大学院	システム情報工学科リスク工学専攻 講師	谷口 綾子
ヤマハ発動機(株)	社会・総務ユニット環境推進グループ 主事	仁志 苗子
遠州鉄道(株)	運輸事業部 次長	落合 清人
中部運輸局	企画振興部 企画課 課長	江口 大暁
	交通環境部 環境・安全課 課長	浅野 忠信
	静岡運輸支局 企画調整官	羽根淵 義信
静岡県	企画部交通政策室 室長	大野 剛
	環境森林部地球環境室 室長	遠藤 和明
磐田市	生活環境部環境保全課 課長	高梨 喜由
	建設部都市計画課 課長	寺田 史朗
《事務局》 磐田市	都市計画課 課長	大箸 清雄
	都市計画課 副主任	村松 広昭

調査スケジュール及びフローは、以下のとおりである。

表 1 - 3 調査スケジュール

調査項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1)交通現況等調査・整理	■					
(2)エコ通勤実態把握						
・実態状態把握 インタビュー調査	■					
・エコ通勤実施に関する 効果及び課題の整理	■	■	■	■		
(3)エコ通勤導入拡大に関する 企業意識調査						
・調査対象企業選定	■					
・従業員意識調査 アンケート調査 インタビュー調査		■	■	■		
・企業意識調査 インタビュー調査		■	■	■		
(4)エコ通勤拡充のあり方に 関する提言					■	
W G		第1回WG (11/7)			第2回WG (2/14)	第3回WG (3/1)
検討会議	第1回検討会 (10/27)					第2回検討会 (3/13)
連絡会議						全国会議 (3/27)

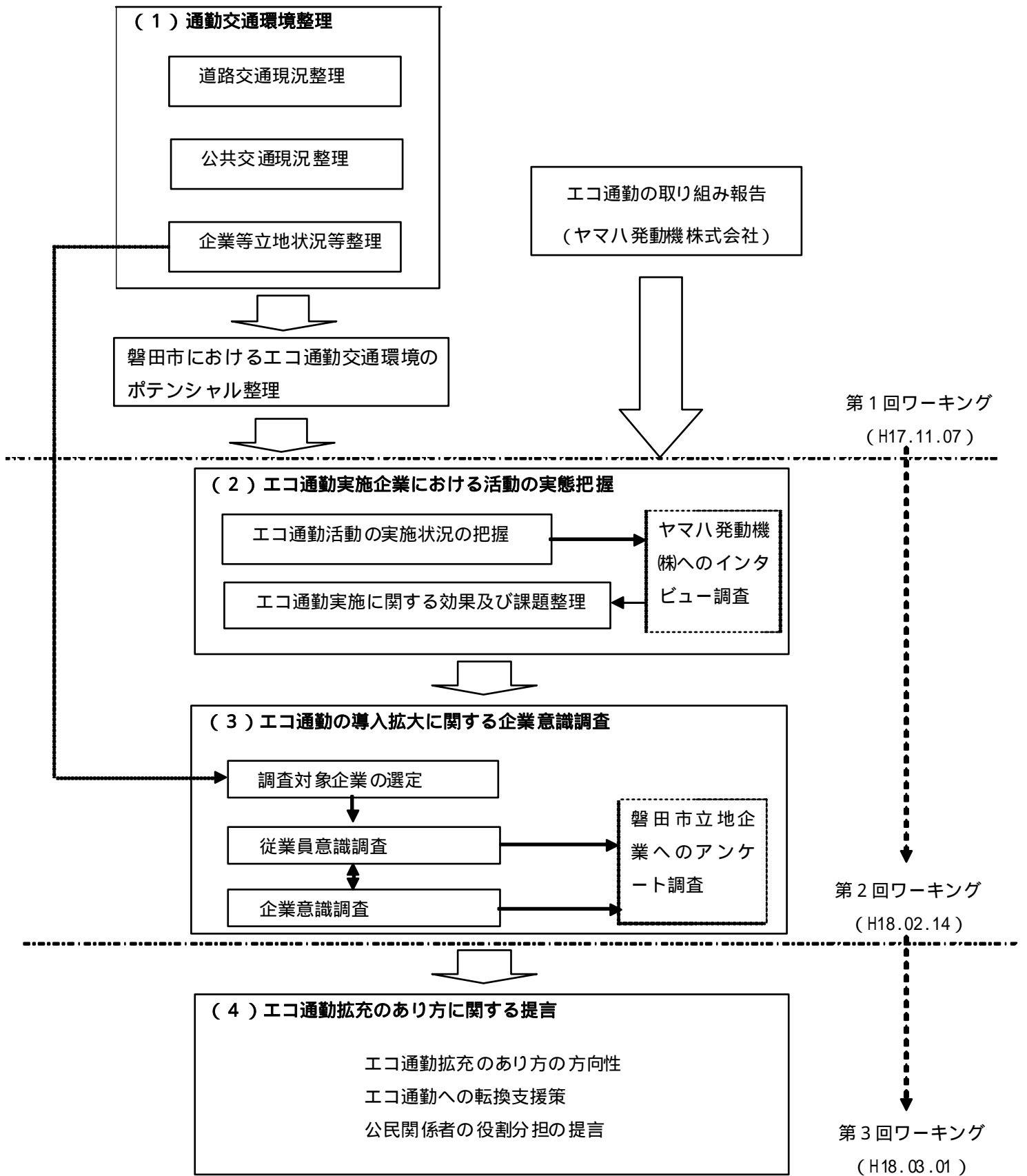


図1-1 調査のフロー図